



OFFICIAL PROGRAM

'96 SUGO ROAD RACE

'96 All Japan Road Race Championship
'96全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
SUGOスーパーバイクレース

SUPERBIKE/GP125/GP250

4/27・28



■会 場 / SUGO インターナショナルレーシングコース
■公 認 / 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
■主 催 / SUGOスポーツクラブ

Arai



●機種名:RX-7RR3 ●帽体:Scic(スーパー・コンプレックス・システム)
 ト・コンストラクション ●規格:スネル、JIS C種 ●内装:フルシステム
 内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドバンス
 ポスト付標準装備(特許出願中) ●色:白、黒、グレイメタリック、イタリ
 アンレッド ●サイズ:(53-54)(55-56)(57-58)(59-60)(61-62)

¥49,000



ティア・オフ・シールド 5枚1組 ¥900



Racing Specialties

※価格に消費税は含まれていません
 ●アライ製品については、品質管理までお問い合わせください
 直通TEL(048)645-3661
 株式会社 アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



贅沢を究めると、新しい形状が視えてくる。

<RX-7RR3>は隅々まで計算され尽くしたアライの先進テクノロジー・ヘルメットだ。安全性、機能性、快適性、軽量化、どの一点にも妥協を許さないアライの設計思想が、バイクファンを魅了する贅沢なヘルメットとして結実した。静粛性を重要視したエアイン&エアアウト。強く軽いスーパーcLc。安定性の追求により精悍さを増した帽体形状。どこを取り上げてでも新しい。

いくつものプロトタイプをさらに進化させ、この究極のフォルムに練り上げたのだ。

<RX-7RR3>。

手に取ってみれば、その真価がすぐに理解できるはずだ。



走行時の負圧で帽体内部の熱気を吸い出すディフューザーが、コンディションに応じた流量調節機能を新たに搭載

帽体内部から後方へのより効果的な排気と、より強靱な形状を突き詰めてボリュームアップしたサイドアウトレット

着脱がさらに容易になったフルシステム内装。<RX-7RR3>では、より深く安定したかぶり心地が得られる

新型のヘルメットは、まず金型をつくって試作し、走って試す。そして、また作り直す。納得いくまで、何度でも作り直して蒸結めていく。金型まで社内で作る、アライならではの贅沢です。ディフューザー効果と高速安定性のさらなる向上を求めて、機能に徹した<RX-7RR3>のフォルムも、帽体金型から作り直した贅沢な逸品なのです。



IEタクト2



スーパーアドバンス&ポスト付きシールド



マウススイッチャー



エア回ラップ



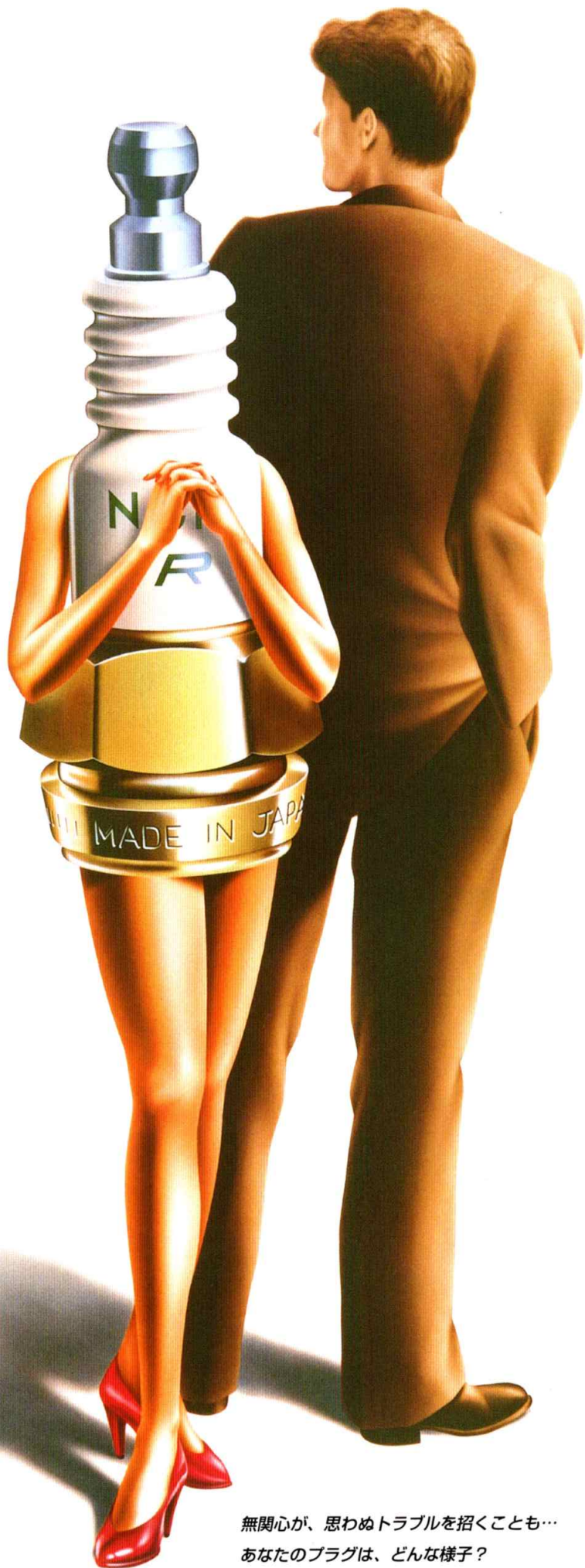
デミストロック



着脱式ノイズディフレクター



もっと、
気にして
ほしい。



無関心が、思わぬトラブルを招くことも…
あなたのプラグは、どんな様子？

愛するクルマのために、整備の際には点検を忘れずに。



日本特殊陶業

DUNLOP
DRIVING TO THE FUTURE



オレは、ダンロップ。

GRANDPRIX RIDER
KAZUTO SAKATA

なんたって究極は、グリップだ。
レーシングライダーにとって、
実戦ではマシンよりタイヤがキメ手になる。
とくにグリップが足りないタイヤはまったくダメだね。
コントロール性は、グリップの次に語られるもの。
横にスライドしても前へ前へと進んでいく。
そして、コーナーをしっかりと立ち上がっていく。
ライダーにヤル気を起こさせるタイヤでなければならない。
いわば勝利のエモーションの原動力。
それがグリップだと思う。だから、オレはダンロップ!

Rideen
GPR-50 *SP*

T900GP



ダンロップは
安全めざしタイヤ!

勝利の道は

カストロールから



A747

YAMAHA TZ125/250 YZシリーズ
HONDA RS125/250R TLM260
KAWASAKI KXシリーズ
MORIWAKI MH80
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース専用混合専用オイル
SAE:50 化学合成油・植物油の混合油
1ℓ/¥4,000



R30

YAMAHA TZ125/250 ミッションオイル
YAMAHA YZシリーズ エンジンオイル
メーカー指定オイル

2サイクルレース専用エンジンオイル/
ミッションオイル
SAE:30 植物油
1ℓ/¥3,000



B353

レーシングエンジンを支えてきたオイル
2サイクルのミッションオイルとしても好評
4サイクルレース専用オイル/2サイクル
レース専用ミッションオイル
SAE:40化学合成油・植物油の合成油
5ℓ/¥13,000

◆植物油を使用しているため、1回使用する
毎にオイル交換して下さい。また、他のオ
イルと混ぜて使用しないで下さい。



TTS

YAMAHA TYZ
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース用高性能ストリート用
エンジンオイル
JASO規格FC
100%化学合成油
0.5ℓ/¥1,500



Neues Formular RS

数多くのレースで培われた
信頼の高性能マシン用オイル

4サイクルエンジンオイル/2サイクル
ミッションオイル
API:SH
SAE:10W-50 100%化学合成油
1ℓ/¥2,800 4ℓ/¥7,500



レーシングブレーキ液

カストロールサポートチームが
使用している定番

レーシング専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C、ウェット沸点150°C
1ℓ/¥3,200



ガーリング ユニバーサル ブレーキ クラッチ液

KAWASAKI KXシリーズ
メーカー指定・推奨オイル

ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用
ドライ沸点265°C、ウェット沸点165°C
DOT3/4タイプ
1ℓ/¥3,800



Castrol

カストロール株式会社

〒102 東京都千代田区麴町3-1泉屋ビル
TEL.03-3265-6101(代表)

Speed 4 You!

XJR400R ¥599,000

■Model type:4HM ■Engine type:Air Cooled DOHC 4valve inline 4 ■Displacement:399cc
■Max.Power:53ps/1,1000rpm ■Max.Torque:3.6kgf·m/9,500rpm ■Transmission:6 speed return
■Dry weight:178kg ■Body coloring:New silver dust,Bluish black(Blue),Bluish white cocktail1(White)

XJR400 ¥579,000 ■Body coloring:Deep red cocktail2,Black2

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部地域を除く) ●価格は参考価格です。●価格には保険料、税金(含む消費税)・登録に伴う費用等は含まれていません。●消費税は別途計算のうえ申し受けます。●詳しくは、販売店にお問い合わせください。

見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライト・オン!
●カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

全日本ロードレース選手権
招待券プレゼント実施中
SUPERBIKE
96年1月~12月にモーターサイクル
スクーターをお買上げの方全員に

●ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客さま相談室へ。

お客様相談室 ☎0120-090-819

●カタログに掲載の力は、掲載名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、
郵送料として郵便切手100円分を同封の上、下記へお申し送りください。
〒438静岡県朝田市新目2500ヤマハ発動機株式会社広報室佐川グループカタログ係

New Special Armed Naked
XJR 400R



Equipped
Brembo
 &
ÖHLINS

●メーカーオプションで速度警告灯装着仕様車(¥10,000円高)もあります。 ●XJR400R(ホワイト)は、'96年5月下旬発売予定です。

Y.E.S.S. ヤマハ新車ご購入と同時にご入会すると
初年度年会費すべて無料!

●Y.E.S.S.年会費3,000円(格別) ●カード年会費500円(格別) ■新車ご購入以外のご入会者も初年度年会費無料! 入会のお願いはこちら。お申し込みはY.E.S.S.のスタッフの方へあるY.E.S.S.加盟店、またはY.E.S.S. HOT LINE ☎0120-319-819へどうぞ



ヤマハは、いま、大人の週末バイクライフを応援しています。

週末はバイク人
 キャンペーン実施中 4/2

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

'96 SUGO ROADRACE

'96全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

TIME SCHEDULE

4月27日(土)公式予選

■ゲートオープンAM6:30～ ●一般入場AM9:00～

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
公式車検	6:30 ゲートオープン		全クラス								
公式予選 (※予備予選)		15 25 40 GP 125 A組 GP 125 B組	20 30 50 GP 250 B GP 250 A	20 30 50 SUPER BIKE B SUPER BIKE A	20 40 50 10 GP 125 B GP 125 A		20 30 50 GP 250 B GP 250 A	20 30 50 SUPER BIKE B SUPER BIKE A	20 30 50 GP 125 B GP 125 A	20 30 50 GP 125 B GP 125 A	

4月28日(日)決勝レース

■ゲートオープンAM7:00～ ●一般入場AM8:00～

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
ウォームアップ走行	7:00 ゲートオープン		45 GP 125	10 25 35 50 GP 250 SUPER BIKE							
スタート前チェック				15		15		30 45			
スタート進行				30		30					
決勝レース					05 GP 125 (18L)		10 GP 250 (20L)		50 SUPER BIKE RACE (25L)		
仮表彰					15 20 ピットウォーク ユース見学会 トークショー		20		20 20 レーシングコース 体験走行		

- SPONSORS**
- 株式会社アライヘルメット
 - カストロール株式会社
 - 株式会社カロツェリアジャパン
 - 昭和貿易株式会社
 - 住友ゴム工業株式会社
 - 株式会社永谷園
 - 日本特殊陶業株式会社
 - ブラウン・アンド・ウイリアムソン・タバコ・コーポレーション
 - 株式会社ブリヂストン
 - 本田技研工業株式会社
 - ヤマハ発動機株式会社

- CONTENTS**
- タイムスケジュール・協賛各社・目次..... 6
 - 大会会長挨拶・大会役員・審査委員・競技役員..... 7
 - INT スーパーバイク..... 8
 - INT GP250.....10
 - INT GP125.....12
 - 各クラスエントリーリスト.....14
 - ロードレースをたのしもう.....20
 - 観戦ガイド・SUGOレースカレンダー 24

ご来場の皆様へ

ロードレース競技には危険が伴います。本大会の競技・運営において、事故のため観客が損害・死傷を受けた場合、本大会の主催者、運営役員、競技参加者は、これに対する補償責任は一切ありません。この点をご了承の上でご入場いただき、決められた場所で観戦くださるようお願い申し上げます。

<http://www.sphere.ad.jp/zundanet/sugo/>

モータースポーツファン必見!
SUGOの全レースがインターネットに登場
 モーターファンには見逃せない情報です。今年からSUGOの全レースがインターネットでアクセスできます。

'96 SUGO ROADRACE

'96全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

GREETING OFFICIAL



スポーツランドSUGO 代表取締役社長
松本 忠

本日は、スポーツランドSUGOにご来場頂きまして、ありがとうございます。桜花爛漫の春4月に、ここスポーツランドSUGOにおいて、'96全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦を盛大に開催できますことを心より感謝申し上げます。

ご承知の通りロードレースはモーターサイクルスポーツの花形競技として人々に親しまれ、スピード感溢れるエキサイティングなライディングは見るものに感動を与えてくれます。ファンの皆様には、トップライダーの素晴らしいライディングをご堪能いただくと共に、暖かいご声援を賜りますようお願い致します。

また、参加選手の皆様には、競技規則を厳守の上、ベスト走行でポイント獲得に挑戦されますよう、この紙面を借りて、声援をおくりたいと思います。

さらに今大会の大会役員、大会競技役員の皆様には、隅々まで配慮の行き届いた運営とこれまで以上の盛会を目指し、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

末尾ながら、今大会へのご協賛、ご協力頂きました各社の皆様、ならび関係各位の皆様、心より厚く御礼申し上げます。

大会役員

大会 会長 松本 忠
大会 副会長 渡辺 通弘

大会組織委員長 太田 初美
大会組織委員 芳野 憲雄

審査委員会

大会審査委員長 藤井 璋美
大会審査委員 内藤 正典
野口 種晴
太田 初美

競技役員

大会競技監督	板橋 康行	大会事務局長	新田 尚宏
副	佐藤守之助	事務局次長	高橋 吉男
副	若林 太市 (スターター)	事務局	芳野 憲雄
管制 長	伊藤 力雄		小林 律
副	佐藤 仁徳		渡辺 俊義
計時 長	佐藤 和則		佐藤 究
副	波岡 周一		是川由美子
フラッグマール	今出ゆきよ		佐藤 弘子
進行:ピット	長 佐竹 良美	大会アナウンサー	荒 智美
副	宮崎 朝志		みし奈昌俊
車検 長	菅野 光一		佐々木恵一
副	永井 謙		渡辺 祥子
救護 長	大槻 克仁	マードライヴ	大平 良夫
副	伊藤 正信	ドクターズ	大平 良彦
コース 長	後藤 秀典	レースクイーン	渋谷 知美
副	三浦 正樹		高橋 圭子
			阿部 美貴

競技委員

計時委員	宮内雄太郎	原田 忠彦	澤田 和也	進行・ピット・バドック委員
八巻 良宏	佐藤 大介	大槻 信行	阿部 正洋	
高橋真由美	小泉 富保	猪股 利恵	畠 薫	後藤 真理
林 絵里子	コース委員	丸山 智明	岩佐 隆行	吉田 章
妻島美智子	青木 洋之	高橋 仁	八木 宗	佐藤 洋哉
下浦 道子	鴨原 政夫	菅原 茂	ト部 和弘	龜山 大輔
高橋ますみ	加倉田 純	島田 幸照	田名部 悟	吉村久美子
今野 裕子	山田 祥子	武田 真弓	山田 健一	龜山智恵子
大室ひとみ	大崎 秀	小野恵美子	林 伸一郎	吉田久美子
安藤 貴子	川口 文明	佐々木美津也	高橋 信	澤目 京子
及川 昌代	高橋 美穂	米山 正樹	吉川 健一	早川百合子
斉藤 友美	片山 吉宏	猪俣 幸恵	島立 敦	佐藤 理恵
菊地 充枝	下枝 健一	吉田 淳宏	星 勇一朗	田中 浩
村越 征巳	原田 和也	佐々木幸夫	田中 浩	菅野 一哉
秋山 豊	小林 陽一	大友伸太郎	菅野 一哉	千田 雅俊
遠藤 葉子	菊地アカネ	大友 愛美	千田 雅俊	北村 政彦
林 絵里子	高橋 政彦	谷津 吉広	高野 芳明	高野 芳明
荒川江美子	工藤 剛	河村 聖一	高橋るり子	大内 淳介
伊藤 一	大堀 幸二	佐藤 直哉	村上 幸枝	宮田 智弥
救護委員	及川 洋	森 和哉	宮田 智弥	新関 幸一
遠藤 善久	留場 秀俊	千葉 信彦	宮田 智弥	横田 深
手塚 暁彦	諏訪部久良	鈴木 寛宣	相沢 健	山田 大介
沢田 雅俊	小川 徹	相沢 健	平間 武敏	久保 善幸
西田 徹	成田 優樹	大泉 成一	大泉 成一	相澤 宗智
武田 智紀	中川 静香	五百澤晋悟	菅谷 宗智	鈴木 昌平
石田 俊晴	尾形 幸江	菅谷 宗智	鈴木 昌平	柴崎 儀男
高橋 弘紀	後藤 裕樹	鈴木 昌平	柴崎 儀男	
	中川 由香	柴崎 儀男		

国内4メーカーの激突 新チーム体制、ニューマシンの仕上がりは？

ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキという国内4メーカーが直接参入し、さらには海外のバイクメーカーであるドゥカティ社のマシンも参加するという、非常にバリエーションに飛んでいるスーパーバイククラス

それぞれのメーカーが自らの威信をかけて戦うため、ライダーの顔ぶれも、魅力的だ。特に今年のシーズンオフ、これまでにないファクトリー間でのライダーの移籍があった。さらに96シーズンの迎えるにあたり、スズキがまったく新しいGSX-R750を発表し、このニューマシンをベースとしたスーパーバイクマシンを製作。またカワサキも新型となるZX-7RRというマシンを投入。マシン、ライダー共に実に興味深い内容となっている。こうした新しいチーム体制、ニューマシンの仕上がりに具合など、さまざまな要素を押し量る意味でも重要な意味を持つ第1戦鈴鹿大会は、公式練習、予選とドラ

イコンディションで行われたのだが、決勝はあいにくの雨となってしまった。そしてこのレースで独走優勝を果たしたのが、チャンピオン青木拓磨だった。昨年はシーズン中盤にテストで足を骨折するアクシデントに遭い、本人もその時点でチャンピオン獲得をあきらめたとあとで振り返っていたが、足にあまり負担のかかりづらい雨のレースが昨年は多く、そうしたレースで強さを見せ、見事チャンピオンを獲得した。開幕戦の強さは、そうした昨年からの流れからも、当然の結果といえる。しかしマシンの仕上がりが良く、2位に34秒差という圧倒的アドバンテージは、やはり今年も拓磨強し、という現実は揺るぎのないものようだ。そしてこれに対抗するのが、チームを移籍し、ニューGSX-R750を駆り、第1戦ではいきなりポールポジションを獲得し、決勝を2位で終えた藤原克明だ。昨年からのスーパーバイククラスにスイッチし、終盤ま

でチャンピオン争いに加わる活躍を見せた藤原はそのままの勢いで今年も台風の目になりそうだ。心配されたGSX-R750とのマッチングも良いようで、今年は「自分の仕事はチャンピオン獲得」と自ら口にしてるように、意欲的にチャンピオン争いに加わろうとしている。

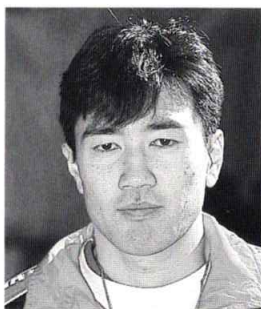
またゼッケン2を付ける武石伸也もチームを移籍。カワサキファクトリーでZX-7RRをライディングする。彼自身、これまでV型4気筒のマシンを乗り続けてきたが、ここで初めて並列4気筒のマシンに乗ることになる。どんな戦いをするか、期待したい。またヤマハの藤原儀彦、カワサキの柳川明、梁明、そしてホンダの新人武田雄一、ドゥカティの生見友希雄、アメリカから帰ってきた宏和孝宏など、見逃せない存在のライダーが目白押しこのクラス。スタートから誰が飛び出すか、今回も目の離せないレースになりそうだ。



1 青木拓磨

TEAM HRC
ホンダRVF/RC45

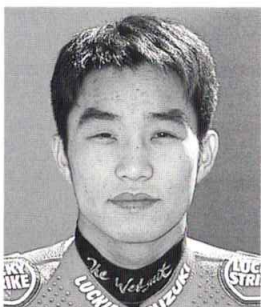
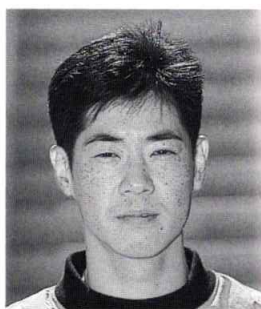
22才。群馬県出身。
91年、国際A級昇格。94年にスーパーバイクにスイッチ。最多勝の6勝を挙げ、ランキング2位。昨年は、ケガに悩まされながらも、見事チャンピオンを獲得。開幕戦も独走で制し、早くも1勝。今年はV2を目指す。



5 藤原儀彦

Y. R. T.
ヤマハYZF750

29才。東京都出身。
86年、国際A級に昇格。87~89年と全日本500ccクラスV3を達成。94年よりスーパーバイククラスに参戦。ランキング4位。95年、ランキング5位。今年はヤマハのエースとして1台体制でチャンプを狙う。



3 藤原克昭

ラッキーストライク・スズキ
スズキGSX-R750

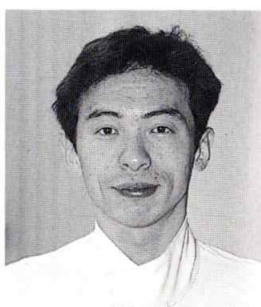
21才。山口県出身。
93年、国際A級昇格。95年、スーパーバイクにスイッチ。2勝を挙げランキング3位となる。今年はスズキに移籍。第1戦では予選ポールポジション、決勝2位とニューマシンながら早くも高い戦闘力を見せている。



2 武石伸也

KRT RR
カワサキZX-7RR

28才。北海道出身。
91年、国際A級に昇格。今シーズンカワサキに移籍。同時に慣れ親しんだV4エンジンから直4エンジンを積むZX-7RRとなり、その走りが注目される。昨年もSUGOで3勝を記録。今回も優勝の最右翼だ。





7 北川圭一

ラッキー・ストライク・スズキ
スズキGSX-R750

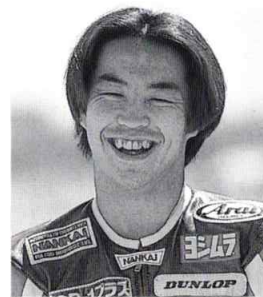
29才。京都府出身。
90年に国際A級に昇格。93年の全日本TT-F1クラスチャンピオン。カワサキで活躍するが、今年からスズキに移籍。昨年選手生命も危ぶまれるほどのクラッシュを負うが、そこから這い上がり、不屈の闘志を見せる。



9 梁 明

KRT RR
カワサキZX-7RR

28才。東京都出身。
90年に国際A級に昇格。昨年まで、このクラスのトッププライベートーターとして活躍。唯一人プライベートーターで勝利を挙げているのもスゴイところだ。今年はその活躍が認められカワサキワークス入り。緒戦では3位入賞。



19 芹沢太麻樹

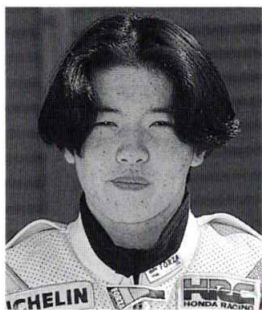
ヨシムラ・スズキ・GP1プラス
スズキGSX-R750T

23才。埼玉県出身。
昨年ヨシムラ入りを果たし、スーパーバイククラスを戦う。今年は、リニューアルされたマシンで上位を狙う。ちなみに開幕戦は5位に入賞。ロードレースはもちろん、モトクロスも国際A級ライセンスを持つ。

6 柳川 明

KRT RR
カワサキZX-7RR

24才。鹿児島県出身。
91年、国際A級昇格。スズキのエースとして活躍する。昨年、カワサキに移籍。トップ争いを展開するが、最高位は2位。今年は2年目のチームでチャンピオンを狙う。だが、とりあえず“勝利”が欲しいところだろう。



45 武田雄一

TEAM HRC
ホンダRVF/RC45

18才。埼玉県出身。
今シーズンホンダワークスに大抜きされた期待のルーキー。昨年は、世界グランプリのヨーロッパラウンドで併催されているサンダーバイクシリーズにエントリー。ランキング13位となる。第1戦は8位でゴール。



SUPERBIKE
JAPAN

INT GP250

チャンピオン沼田のV2を阻むのは 大次郎、芳賀、本間、あるいは!?

昨年のこのクラスの勝者は、チャンピオン沼田憲保が2勝、ランキング2位の宇川徹が6勝、同4位の宮崎敦が1勝、同5位の加藤大次郎が2勝となっている。この中から今年は、宇川、宮崎が世界GPへと旅立つこととなった。単純に計算しても、この二人が抜けたことによる7勝を誰が手に入れるかで、このクラスの行方は決まることになる。

その最右翼が、念願のゼッケン1を付けて今年走るスズキファクトリーのエース、沼田憲保だ。一貫してRGV-γ250の開発を行いながら実戦参加。このマシンを誰よりも知り尽くしているライダーだ。昨年のチャンピオン獲得の勝因は、シーズン終盤の雨の第8戦TI、同じく雨の第9戦SUGOの2連勝だ。しかも安定して速い。雨となった開幕戦も、チャンピオンらしい横綱相撲で今期1勝目を挙げている。安定したカプラス昨年チャンピオンを獲得したことで、勢いもある。このままシ-

ズンと突っ走る可能性大、だ。

その沼田のV2を阻むライバルの筆頭は、国内唯一のNSRライダーとなった加藤大次郎だ。昨年は型遅れのマシンだったが、今年は念願の最新型NSRを手に入れ、同時に使用タイヤを世界グランプリでNSR勢が使用しているミシュランを装着することとなった。残念ながらシーズン前のテストで十分な走り込みができなかったことから、タイヤとのマッチングがまだできていないため、本来の速さをまだ見せることができていない。しかしミシュラントイヤを選択したHRC首脳陣には、大次郎が旅立つであろう世界GPでのマシンの組み合わせを想定し、この結果に至るはずだ。つまりこのチョイスは、チームの、大次郎への期待の高さを証明するものでもある。どのタイミングで大次郎がタイヤとのマッチングを図り、これまで以上の速さを見せることになるのだろうか。それは第1戦から約1カ月の

インターバルをはさんだ今回の第2戦になるかもしれない。

また開幕戦を2、3位という順調なりザルトで終えることになったヤマハファクトリー。今年は昨年に引き続き、TZの開発を行いながら実戦参加する芳賀健輔に加え、88年のこのクラスのチャンピオンである本間利彦の二人となった。前述したように第1戦では2位芳賀、そして久々のレースで3位入賞を果たした本間と、滑り出しは順調だ。久々のレースながら、難しい雨のコンディションで3位となった本間が以前の速さを発揮できれば、このクラスはより一層混戦となり、面白いレースとなるはずだ。

また開幕戦で4位となったプライベーターの森兼正明、同5位の松戸直樹も、このクラスを盛り上げてくれるライダーの一人だ。昨年の宮崎のように、ファクトリーを押さえ、プライベーターの勝利を今年も見せて欲しい。



1 沼田憲保

ラッキーストライク、スズキ
スズキRGV-γ250

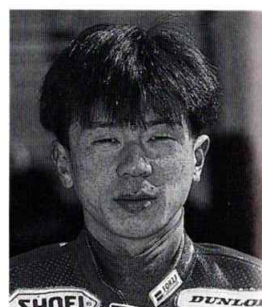
29才。茨城県出身。
91年、国際A級昇格。全日本250ccクラスをRGV-γ250とともに戦ってきた。昨年は前半戦の不調から立ち直り、見事チャンピオンを獲得。雨となった開幕戦鈴鹿は独走で優勝。王者の貴祿を見せつけた。



36 本間利彦

Y. R. T.
ヤマハTZ250

29才。愛知県出身。
88年の全日本250ccクラスチャンピオン。91~93年と全日本500ccクラスで活躍。その後、ヤマハYZR500の開発ライダーを務める。今シーズンから250ccクラスに復帰。開幕戦では早くも3位入賞。今後に期待大だ。



5 加藤大治郎

Team高武RSC
ホンダNSR250

19才。埼玉県出身。
94年から全日本250ccクラスに参戦。ルーキーながら1勝を記録しランキング7位。昨年は2勝を挙げたものの、前半戦のノーポイントが響きランキング5位。今年は全日本唯一のNSRライダーとして勝ちを狙う。



51 匹田禎智

チームボスコ・モト&デイトナ
アプリリアRSV250

33才。埼玉県出身。
長年、市販RSを駆り、トッププライベーターとして活躍。93年には優勝も記録している。昨年は、世界グランプリに参戦。日本グランプリではプライベーター唯一の3位表彰台に上がる。今年はチームデイトナのアプリリアを乗りチャンプを狙う。





6 芳賀健輔

Y. R. T.
ヤマハTZ250

22才。愛知県出身。
92年、国際A級昇格。94年より
ヤマハワークス入り、ランキン
グ9位となる。昨年は、SUGO
で2回の2位入賞を含むラン
キング6位となる。開幕戦でも2
位でフィニッシュしており、後
は“優勝”の2文字が欲しい。



7 森兼正明

ENDURANCE
ホンダRS250

27才。山口県出身。
91年、国際A級昇格。ここ数年
は常にシングルゼッケンを獲得。
トッププライベートーとして活
躍している。第1戦ではレース
序盤にトップ争いを展開。結果
は4位だったがワークスを食う
走りを見せる。



16 関口太郎

YESS レーシング チーム
ヤマハTZ250

20才。東京都出身。
昨年から全日本250ccクラスに
参戦。スタンダードマシンなが
ら時折光る走りを見せ、ランキ
ング16位となる。
今年は、YESS RACINGに移籍。
体制も強化され、されなる上位
を狙う。

41 加賀山幸男

JAJA. RACING TEAM
スズキRGV-Γ 250

21才。神奈川県出身。
93年に国際A級昇格。94年から
開発ライダーとしてスズキ入り。
昨年はスズキスーパーバイクの
エースとして戦いランキング
11位。今年は、500ccの開発を
主に、250ccクラスにもスポッ
ト参戦する。



18 亀谷長純

JAJA. RACING TEAM
スズキRGV-Γ 250

19才。埼玉県出身。
95年、国際ライセンスに昇格
と同時にスズキ入り。前半の5
戦にエントリーし、ランキング
18位。昨年の第5戦SUGOでは、
自己最高位である5位に入っ
ており、今回はそれを更新すべく
挑戦する。



SUPERBIKE
JAPAN

INT GP125

世界に最も近いクラス
ハイレベルの戦いが展開される

昨年のチャンピオン宇井陽一は全10戦中、2勝を挙げてタイトルを手にした。そしてランキング2位の東雅雄は5勝を挙げながら、ノーポイントのレースが大きく足を引っ張る結果となり、ゼッケン2となった。

そのため、今期は東がチャンピオン候補最右翼と目されていた。

しかし開幕戦は、世界GP参戦を急ぎよ止め、全日本にフルエントリーすることになったJhaレーシングの仲城英幸が独走で勝利を収める結果となった。2位は全日本2年目となる中野真矢、3位は佐藤慎也で、東は混戦の中に巻き込まれ、追い上げのレースとなったのだが、激しい雨のために途中で赤旗で終了となってしまい、不満足な結果となってしまった。

それでも、昨年の東の勢いはそのままであり、また彼の走りを支えるチームフジワラのマシンの速さも磨きがかかっているため、シーズンを引っ張っていく

人であることは間違いない。

世界グランプリで技術を磨いてきた仲城も、常にトップグループに加わってくるだろう。ただ心配なのは、マシンの仕上がりが若干遅れていることだろう。第1戦は雨のため、マシンの差が出ずらく、ライダーのテクニックで勝利を得ることができたが、仲城自身がレース後に「マシン差があったが、なんとか技術でカバーした。ドライだったら苦戦していたと思う」とコメントしているように、仲城の活躍はマシンの仕上がりにかかっていると言っても過言ではないだろう。

そして気になるヤマハ勢だが、TZ125の開発ライダーとして全日本にスポット参戦を続けてきている茨木繁は、昨年より少ないレースへのエントリーとなりそうだ。期待は中野真矢、上江洲克次といったライダーになる。中野は今年で全日本2年目。名門SP忠男レーシングチームという実績あるスタッフに囲まれ、レースを戦う。

全日本のレースにも慣れた今年、彼の秘める速さが昨年以上に発揮されれば、チャンピオン争いに絡んでくることは必至。また上江洲も古巣であるJレーシングに戻り、昨年以上のランキングを狙ってくるはずだ。

また昨年はシーズン序盤、新たに導入されたガソリン規制の影響から、マシン開発に悩まされたハルクプロも昨年同様、高尾和弘、小野真央のWエース体制で臨んでいる。マシン面での悩みもシーズン終盤には解決し、最終戦は高尾2位、小野3位と表彰台の2カ所を占めるという本来の速さを発揮し、95年シーズンを締めくくった。今年もその速さに一層磨きがかかり、1、2フィニッシュを狙ってくるはずだ。

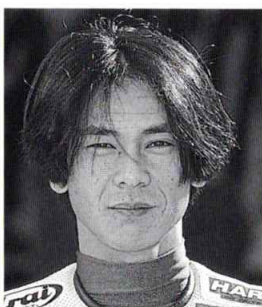
また彼ら以外に、新人がいきなり飛び出してくることもある。目の離せないクラスだ。



2 東 雅雄

チーム フジワラBP
ホンダRS125R

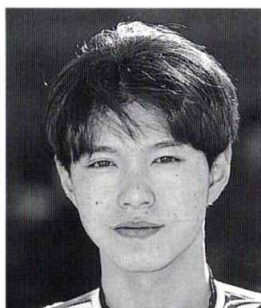
25才。高知県出身。
94年に国際A級昇格。昨年は4勝を挙げるものの、ノーポイントのレースが響き惜しくもタイトル獲得を逃す。だが、鈴鹿では負けなしの3勝を記録している。キレると手の付けられない速さを見せる。



4 高尾和弘

カストロールTEAMハルクプロ
ホンダRS125R

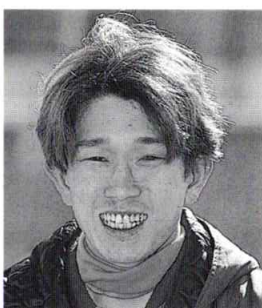
27才。愛知県出身。
93年、国際A級昇格。昨年は、トップ争いには絡むものの最高位は2位と惜しくも優勝を逃すレースが多かった。今季は開幕戦でも、ポールポジションを獲得するなど、今回はどんな走りを見せるのか？



12 中野真矢

SP忠男レーシングチーム
ヤマハTZ125

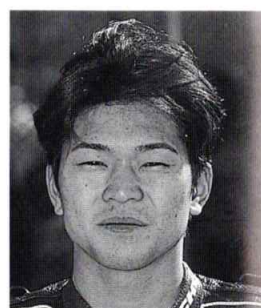
18才。千葉県出身。
昨年、全日本125ccクラスにデビュー。第6戦のMINEでの2位を最高位にランキング12位。ポールポジションも獲得したりとルーキーらしからぬ速さを見せた。開幕戦も2位でフィニッシュしており今回も要注目だ。



5 菅谷慎一

ALICE & Calbee
ホンダRS125R

23才。東京都出身。
92年、国際A級昇格。昨年は3回の2位入賞を記録。しかし、4度のノーポイントが響きランキング5位に。だが、今回は、オフのテストで負ったケガがまだ癒えず、厳しいレースになりそうだ。





109 仲城英幸

Jhaレーシング
ホンダRS125R

27才。奈良県出身。
94年より世界グランプリ125cc
クラスにフル参戦。昨年はラン
キング9位に。今年はチームが
グランプリ参戦を断念したため
全日本を走る。開幕戦では独走
優勝し、GPライダーの貴祿を
見せつけた。



7 小野真央

カストロールTEAMハルクプロ
ホンダRS125R

23才。栃木県出身。
90年、国際A級昇格。91年には
全日本125ccクラスチャンピオ
ンに輝く。93年から世界GPに
参戦するが、ケガに泣かされる。
昨年、復活をかけて全日本に参
戦。見事に復調しランキング7
位となる。



10 佐藤慎也

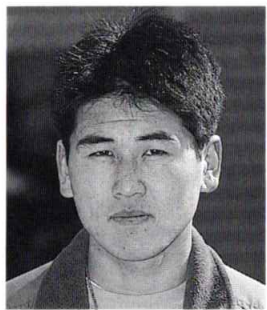
ライダーズサロン横浜
ホンダRS125R

25才。神奈川県出身。
昨年は、雨となった第8戦TIで
2位に入賞。久しぶりの表彰台
に上った。しかし、5回のノー
ポイントが響きランキング10
位となる。だが、93年には世
界グランプリに参戦した経歴も
持っており、その実力は高い。

8 上江洲克次

TEAM伸興通産J. Racing
ヤマハTZ125

21才。愛知県出身。
93年、国際A級昇格。94年には、
雨の鈴鹿で初優勝を記録。ラン
キング13位となる。95年は、
時折光る走りを見せ、ランキン
グも8位に上がる。
今年は古巣のJレーシングに戻
り上位を狙う。



6 小澤敏明

ENDURANCE & 彩光
ホンダRS125

26才。埼玉県出身。
92年、国際A級昇格。昨年は開
幕戦のSUGOでポールポジショ
ン獲得や第5戦でのトップ争い
など、SUGOではなかなかの速
さを見せていた。開幕戦でもい
い走りをしていただけに、今回
も期待大だ。





ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
2	A			東 雅 雄	25	高 知	H-RS125R	チームフジワラ BP
4	B			高 尾 和 弘	27	愛 知	H-RS125R	カストロール TEAM ハルクプロ
5	A			菅 谷 慎 一	23	東 京	H-RS125R	ALICE & Calbee
6	B			小 澤 敏 明	26	埼 玉	H-RS125	ENDURANCE & 彩光
7	A			小 野 真 央	23	栃 木	H-RS125R	カストロール TEAM ハルクプロ
8	B			上江洲 克 次	21	愛 知	Y-TZ125	TEAM 伸興通産 J. Racing
9	A			藤 岡 祐 三	22	愛 媛	H-RS125R	Team フジオカ
10	B			佐 藤 慎 也	25	神奈川	H-RS125R	ライダーズサロン 横浜
11	A			金 井 雅 明	27	茨 城	H-RS125	Fine Racing
12	B			中 野 真 矢	18	千 葉	Y-TZ125	SP 忠男レーシングチーム
13	A			大 塚 勇 二	26	神奈川	H-RS125	TRR-PENSION☆OZ
14	B			大 崎 誠 之	25	福 岡	H-RS125R	テクノギルドレーシングチーム
15	A			岡 村 崇 規	25	三 重	H-RS125	チームフジワラ BP
16	B			久 保 和 寛	24	京 都	H-RS125R	Jha レーシング
19	A			早 原 邦 顕	25	三 重	H-RS125R	TEAM NUTS/
20	B			伊 東 忠 孝	27	宮 城	H-RS125R	レーシングサヤマ ライドスポーツ
22	A			天 野 邦 博	26	東 京	H-RS125	チーム アクタス
23	B			渡 部 伸	25	埼 玉	H-RS125	ホンダ ブルーヘルメットMSC
25	A			高 橋 桃 子	23	東 京	Y-TZ125	R. T YSP刈谷!
26	B			山 下 祐	27	神奈川	H-RS125	サムシステム & M'-PRO/
27	A			上 野 秀 昭	29	愛 知	H-RS125	チーム カツラガワ
28	B			西 山 康 典	22	宮 城	H-RS125	クルーズレーシングチーム
29	A			秋 田 貴 志	22	神奈川	H-RS125R	ALICE & Calbee
30	B			菊 池 寛 幸	30	京 都	H-RS125R	チームウイリー
31	A			鶴 飼 孝 徳	26	三 重	H-RS125	レーシングガレージ Niwa
32	B			稲毛田 潤	29	神奈川	H-RS125	Dinky & エイブルコミュニケーション
34	A			永 田 健 二	25	三 重	H-SR125R	TEAM カツラガワ
35	B			中 村 実	24	宮 城	H-RS125R	レーシングサヤマ ライドスポーツ
36	A			酒 井 大 作	14	大 阪	H-RS125R	TEAM-SRS・J
37	B			佐 藤 貴 之	22	宮 城	H-RS125	南海部品仙台店 ROAD Walker(s)
38	A			水 野 生 久	27	愛 知	Y-TZ125	Support Racing
39	B			新 井 守	25	栃 木	H-RS125R	TEAM・Friendly
40	A			永 塚 良 典	27	茨 城	H-RS125	TEAM・i-FACTORY
41	B			松 永 弘 志	22	千 葉	H-RS125	テクニカルスピード
43	A			興 梶 義 則	23	三 重	H-RS125	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
44	B			伊 東 哲	28	東 京	H-RS125R	RACING SUPPLY
45	A			榊 原 浩 二	27	愛 知	Y-TZ125	★Support Racing★
46	B			坂 西 博 光	25	三 重	H-RS125	横井エンジニアリング
48	A			小 林 正 義	26	千 葉	H-RS125	TEAM AKAGI & Jha
50	A			水 戸 健 一	27	愛 知	Y-TZ125	IKKO RACING
51	B			鈴 木 健	25	埼 玉	Y-TZ125	ガレージ サイトウ
52	A			松 井 剛	27	東 京	H-RS125R	M-TUNE Racing & P. P
53	B			大久保 修 二	23	群 馬	H-RS125	Team-AKAGI
54	A			羽 鳥 誠	23	群 馬	H-RS125R	TRR-Team AKAGI
55	B			杉 野 英 史	26	三 重	H-RS125R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
56	A			大 石 義 次	25	東 京	Y-TZ125	EAST CORE T. L 山陽
57	B			佐々木 洋 一	24	大 阪	H-RS125	Tプリズムハウス & テクノギルド
58	A			依 田 裕 章	24	神奈川	H-RS125R	Dinky + WILL・CORP
59	B			柴 崎 光 宏	23	宮 城	H-RS125	南海部品仙台店 ROAD Walker's

1分36秒291 1995年10月21日

'95全日本ロードレースMFJグランプリ

菅谷慎一/ホンダRS125R

INTGP125

ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
60	A			楠 大樹	19	千葉	H-RS125	テクニカルスポーツ関東
61	B			浦尾 隆弘	23	東京	H-RS125R	サンエイレーシング & フォルザ
62	A			笹島 義久	28	神奈川	H-RS125R	Dinky & エイブルコミュニケーション
63	B			岡田 純一	21	京都	H-RS125R	Jha レーシング
64	A			道山 武史	34	東京	H-RS125	SEIJOY・BAY・RC
65	B			城戸 謙二	19	福岡	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
66	A			亀田 勝太	24	栃木	H-RS125	TEAM-i-F & PSR
67	B			塚田 実	28	東京	H-RS125R	Team 桜井ホンダ
68	A			小磯 栄	27	茨城	H-RS125	ナカノレーシング & モトα & RCY
69	B			小島 崇志	29	新潟	H-RS125	T・KANEYASU 桜井ホンダ
70	A			片平 光浩	32	千葉	H-RS125	RS 斗雲と五十歩百歩にPIT
71	B			篠田 英博	25	三重	H-RS125R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
72	A			林 達也	23	東京	H-RS125	モトバム レオスレーシング
73	B			中沢 寿寛	25	東京	H-RS125	YSP 東小金井 & ニンジンハウス
74	A			谷 信行	26	大阪	Y-TZ125	ヒットマン RC甲子園
75	B			小林 弘幸	26	栃木	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
76	B			大橋 賢	22	三重	H-RS125R	テクニカルスポーツ
77	A			小寺 淳二	23	岐阜	Y-TZ125	TEAM 伸興通産 J. Racing
78	B			横江 竜司	18	宮城	Y-TZ125	NISEKI & よこえRS 森のくまさん
79	A			大石 吉孝	25	三重	H-RS125R	チームトクノ 大阪アスファルト
80	B			伊藤 雅義	29	千葉	H-RS125R	チーム 斗雲 & 五十歩百歩R. T
81	A			船木 行洋	28	神奈川	H-RS125	
82	B			三田 博正	24	大阪	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
83	A			西沢 将弘	23	埼玉	H-RS125	ENDURANCE
84	B			加藤 誠一	23	宮城	H-RS125R	TEAM や・す・し
85	A			川瀬 誠	23	神奈川	H-RS125R	Dinky Racing
86	B			山根 幸男	31	東京	H-RS125R	チーム KAZUMA オートオーエ
87	A			村上 元樹	24	東京	H-RS125	POSH東京プロジェクト!
88	B			武藤 しんじ	30	愛知	H-RS125R	Team KOHSAKA
89	A			浦 英樹	28	千葉	H-RS125R	Team 斗雲
90	B			稲葉 良	26	東京	H-RS125	SEIJOY-BAY-RACING
91	A			寺林 拓実	27	埼玉	H-RS125R	カストロール TEAM ハルクプロ
92	B			平間 司	22	宮城	H-RS125	ガレーヂ クニマサ
93	A			山本 清司	32	埼玉	H-RS125	明和レーシングクラブ
94	B			山科 真治	29	東京	H-RS125	
95	A			辻 修	26	千葉	H-RS125R	斗雲 & 五十歩百歩
96	B			大貫 努	28	神奈川	Y-TZ125	B・H スーパーレーシング
97	A			佐藤 亮	24	千葉	H-RS125	スリーアングル & RT 韋駄天
98	B			渡辺 淳衛	23	福島	H-RS125	サンエイR & フォルザ & 会田車体
99	A			吉川 和宏	29	神奈川	H-RS125R	ペンタグラム & Agip
100	B			山田 実	30	千葉	H-RS125	Fine Racing
101	A			太田 英治	29	熊本	H-RS125	HONDA 熊本レーシング
102	B			鈴木 健一	27	神奈川	H-RS125R	トムスポーツ & MHマツモト
103	A			古橋 徹	23	埼玉	H-RS125	オーエックスレーシング
104	B			竹中 伸浩	31	東京	H-RS125	Pentagram TRP ヤマダ
106	A			中川 実	27	千葉	H-RS125R	モトバムレオスレーシング
109	A			仲城 英幸	27	奈良	H-RS125R	Jha レーシング
110	B			中原 功雄	27	東京	H-RS125R	MOTO BUM & RHEOS
123	B			中島 一樹	21	千葉	H-RS125	FINE RACING



ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			沼田 憲保	29	静岡	S-RGV-Γ250	ラッキーストライク、スズキ
5	B			加藤 大治郎	19	埼玉	H-NSR250	Team 高武 RSC
6	A			芳賀 健輔	22	愛知	Y-TZ250	Y. R. T.
7	B			森 兼正明	28	埼玉	H-RS250	ENDURANCE
9	A			喜久川 光	28	広島	Y-TZ250	コンパイルレーシングヤマハ
10	B			前田 誠司	25	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
11	A			玉田 誠	19	愛媛	H-RS250R	Team 高武 RSC
12	B			小倉 直人	27	新潟	Y-TZ250	IKKO RACING
13	A			浜口 俊之	25	三重	H-RS250R	TEAM NUTS & コウサカ
15	B			松戸 直樹	22	千葉	Y-TZ250	コンパイルレーシングヤマハ
16	A			関口 太郎	20	東京	Y-TZ250	YESS レーシングチーム
18	B			亀谷 長純	19	埼玉	S-RGV-Γ250	JAJA RACING TEAM
19	A			野田 弘樹	26	奈良	H-RS250	HIRYU RACING
20	B			原田 伸也	24	千葉	Y-TZ250	SP 忠男レーシングチーム
21	A			高橋 司	27	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
22	B			山川 智之	27	宮城	H-RS250R	TOYO-TOWNS-RT
25	A			榊原 礼視	25	大阪	Y-TZ250	チームモトスペース TODAYA
26	B			田村 浩司	25	京都	H-RS250	テクニカル スポーツ
27	A			仲地 万寿夫	26	東京	H-RS250	モトバム レーシングチーム
28	B			武山 祐介	24	宮城	Y-TZ250	NISSEKI & ヨコエ RS
32	A			及川 誠人	25	神奈川	Y-TZ250	スポーツライダー & KISSRT
33	B			中川 直史	23	三重	H-RS250	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
36	A			本間 利彦	29	愛知	Y-TZ250	Y. R. T.
37	B			更科 裕樹	30	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT 根岸オート 出光
38	A			水谷 茂	28	東京	Y-TZ250	PLUSμ & M'-PROJECT
39	B			清水 潤也	25	埼玉	Y-TZ250	スポーツライダー & KISSRT
40	A			小野寺 貴行	23	宮城	Y-TZ250	NISSEKI & 森のくまさん
41	B			加賀山 幸男	21	静岡	S-RGV-Γ250	JAJA. RACING. TEAM
42	A			斉藤 勲	27	神奈川	Y-TZ250	ミクニ、クラブベントィス R. P.
43	B			池上 賢一	24	栃木	H-RS250R	TEAM・i-FACTORY
44	A			入野 博昭	24	埼玉	Y-TZ250	スポーツライダー & 富士電工
45	B			甲府方 周二	23	東京	Y-TZ250	エキスパートレーシング
46	A			田中 康文美	24	宮城	H-RS250	TOWNS・ファームたぬきざわ
47	B			宮田 剛志	28	三重	Y-TZ250	プレイメイトレーシング
48	A			穴戸 裕二	23	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT 根岸オート
49	B			新田 一美	28	東京	Y-TZ250	ペンタグラム with Agip
50	A			中山 睦生	24	滋賀	H-RS250	

96MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦

決勝スタート/4月28日

周回数/20周

レース距離/74.75km

●これまでのコースレコード

1分31秒898 1993年10月9日

'93全日本ロードレース選手権第11戦

原田哲也/ヤマハTZ250M

INT GP250

ゼッケン	予選 組分	予選 順位	決勝 順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
51	B			匹田 禎 智	33	埼玉	A-RSV250	チームボスコ・モト & デイトナ
52	A			林 祐 孝	26	愛知	Y-TZ250	R. T YSP刈谷!
53	B			石川 智 之	30	静岡	H-RS250	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
54	A			村田 芳 成	26	大阪	Y-TZ250	VEGA SPORTS GK
55	B			吉岡 直 毅	26	静岡	H-RS250	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
56	A			石井 孝 之	26	千葉	Y-TZ250	M'-PROJECT/
57	B			安斎 勝 章	25	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
58	A			武内 進	27	東京	Y-TZ250	RP馬行 & クロスオート & 船橋R
59	B			糸井 拓 也	22	栃木	H-RS250	ENDURANCE & PSR
60	A			尹 昌 憲	23	愛知	H-RS250R	Team 花菱 KOHSAKA
61	B			田中大 輔	26	愛知	Y-TZ250	TEAM YDS YAMAHA
62	A			黒川 圭 介	29	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
63	B			大木 正 和	28	山梨	Y-TZ250	Pentagram + Agip
64	A			川上 誠	27	大阪	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
65	B			薄井 誠	29	東京	H-RS250	レーシングチーム タクミ
66	A			吉野 昌 弘	24	東京	H-RS250	HIRYU RACING!
67	B			小林 健 次	25	埼玉	H-RS250	明和レーシングクラブ
68	A			大場 和 樹	25	宮城	Y-TZ250	VAN HOUSE & COM
69	B			国井 恒 和	26	東京	Y-TZ250	PAL レーシング
70	A			佐々木 裕 昌	29	神奈川	Y-TZ250	ミクニ, クラブベンティス RP
71	B			長岡 俊 宏	24	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
72	A			高橋 孝 浩	24	東京	Y-TZ250	
73	B			星野 誠	31	静岡	Y-TZ250	WIN•JACK & WAKO'S BS
74	A			小谷田 欽 章	25	東京	H-RS250R	OX レーシングチーム & 石森石油
75	B			加藤 健 治	23	東京	H-WM03B	With me P•R•T
76	A			安斎 信 男	24	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
79	B			小島 剛	26	神奈川	Y-TZ250	ミクニ, クラブベンティス RP
82	A			千葉 勲	29	大阪	Y-TZ250	チーム フライングドルフィン
83	B			浅井 一 朗	22	宮城	Y-TZ250	Team ita
84	A			山下 裕 介	19	静岡	Y-TZ250	☆BLACK PANTHER☆
86	B			宮地 泰 輔	27	東京	Y-TZ250	PAL レーシング ミクニ
87	A			池田 光 秀	28	栃木	H-RS250R	オートテクニク スポーツ
89	B			笠 孝 臣	26	熊本	H-RS250	HONDA 熊本レーシング
90	A			福澤 巖	28	東京	H-RS250R	TEAM NUTS/
92	B			田村 則 夫	29	神奈川	Y-TZ250	ツツミモータース 2F
99	A			斉藤 憲 治	27	神奈川	Y-TZ250	Team TOSH-TEC
100	B			秋山 恵利香	24	静岡	H-RS250R	TEAM IVY



ゼッケン	予選 組分	予選 順位	決勝 順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			青木 拓磨	22	群馬	H-RVF/RC45	TEAM HRC
2	B			武石 伸也	28	北海道	K-ZX-7RR	KRT RR
3	A			藤原 克昭	21	静岡	S-GSX-R750	ラッキーストライク、スズキ
5	B			藤原 儀彦	29	静岡	Y-YZF750	Y. R. T.
6	A			柳川 明	24	静岡	K-ZX-7RR	KRT RR
7	B			北川 圭一	29	静岡	S-GSX-R750	ラッキーストライク、スズキ
8	A			生見 友希雄	30	東京	D-916	チーム・ファンデーション
9	B			梁 明	28	兵庫	K-ZX-7RR	KRT RR
10	A			芳賀 紀行	21	愛知	Y-YZF750SP	テクノモーターエンジニアリング
13	B			長谷川 克憲	27	千葉	Y-YZF750SP	PJ1 MAX KLEVER
14	A			鶴田 竜二	30	愛知	K-ZX-7RR	チームイワキ K's ガレージ
15	B			塚本 昭一	35	兵庫	K-ZX-7RR	KRT RR
16	A			金安 智彦	34	新潟	H-RVF/RC45	Team 桜井ホンダ
17	B			小林 敏也	29	滋賀	H-RVF750R	TEAM ELAN & RG NIWA
19	A			芹沢 太麻樹	23	埼玉	S-GSX-R750T	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス
22	B			高橋 芳延	28	兵庫	K-ZX-7RR	WAKO'S D, D, BOYS
26	A			和泉 美智夫	28	大阪	H-RVF750	モリワキレーシング
29	B			賀来 聡介	24	東京	Y-YZF750SP	PJ1 & スガヤスピード RT
30	A			赤木 哲也	24	静岡	H-RVF750	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
32	B			原口 祐二	28	三重	H-RVF/RC45	爽風会・鈴鹿レーシングチーム
35	A			芦名 秀美	28	宮城	H-RVF750R	クルーズ RT & Kasai
36	B			泉名 英男	30	埼玉	H-RVF750R	向陽会ドリームレーシングチーム
37	A			筒井 秀明	29	埼玉	K-ZXR750R	RS-ITOH
40	B			鎌田 学	25	三重	H-RVF750	Team 桜井ホンダ
41	A			宗和 孝宏	30	兵庫	D-916	Team SHOWA
43	B			井村 和弘	24	京都	K-ZXR750	ボンバー
44	A			深見 貴広	25	愛知	Y-YZF750SP	クレバーウルレーシングチーム

モーターサイクルの祭典

SUGO Sound Festival '96シリーズ開催!

モーターサイクルをこよなく愛するライダーにSUGOからビッグプレゼント!『SUGO Sound Festival '96』が今年全3戦のシリーズ戦で開催されます。これからレースを始めたい方、自慢のマシンをサーキットで走らせたい方、本格的なレース志向の方、全ての方に満足していただけるイベントです。また、フリーマーケット、サーキット走行会、ニューマシン試乗会などのイベントも開催する予定ですので、モーターサイクルファンの皆さんはぜひご参加下さい。

- 開催日 第1戦 5月6日(祝)
SUGOスプリングサウンドフェスティバル'96
第2戦 9月16日(祝)
SUGOオータムサウンドフェスティバル'96
第3戦 11月4日(祝)
SUGOサウンドフェスティバルグランプリ'96
- 参加資格 '96MFJ国内フレッシュマンライセンス以上所有者
(SUGO及びMFJライセンス取得希望の方はお問合せ下さい。)
- 参加車両 国内外問わず4サイクル単気筒及び2気筒エンジンを有する車両。
- 開催クラス
- シングル…LS (250cc以下)
NS (251cc~610cc以下)
SS (348cc以上)
 - ツイン…LT (550cc以下)
ACT (空冷501cc以上)
LCT (水冷501cc以上)
- ※各クラスの改造範囲等については'96 SUGOロードレース特別規則書をご覧ください。

- 参加料 同一車両でのダブル、トリプルエントリーはできませんが、別車両でのエントリーは可能です。

- 1種目参加料 18,000円 (MFJ共済会費4,000円含む)
- 2種目参加料 32,000円 (MFJ共済会費4,000円含む)
- 3種目参加料 46,000円 (MFJ共済会費4,000円含む)

■その他

- 通常入園料金を観戦できます。
(大人820円、中・高510円、幼・小200円)
- フリーマーケットの参加者も募集しています。
(1ヶ月前より受付)

- サーキット体験走行を楽しんでいただけます。
- SUGOスポーツクラブ (出場申込先)
TEL 0224 (83) 3127
FAX 0224 (83) 3697 担当: 佐藤
〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
- レーシングショップ ita
TEL/FAX 022 (386) 3705 担当: 福田

お問合せ先

第2戦以降は開催クラスも大幅に増えビッグに開催します。



1分31秒501 1994年10月9日

INT SB SUPER BIKE

ゼッケン	予選 組分	予選 順位	決勝 順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
45	B			武田 雄一	18	埼玉	H-RVF/RC45	TEAM HRC
47	A			佐藤 清和	29	栃木	H-RVF/RC45	オートテクニックスポーツ
48	B			西村 慶太	31	埼玉	H-RVF/RC45	ホンダ狭山レーシング
50	A			松原 泉	27	埼玉	K-ZXR750R	RS-ITOH & EPL
51	B			森 剛	22	東京	Y-YZF750	Pentagram & Agip
52	A			小野寺 康浩	28	宮城	D-888	ita & ナオエマシナリー
53	B			蒔田 正康	31	福島	D-916	カセツ産業株 & パナナジュース
54	A			西田 浩工	29	北海道	H-RVF750R	くっちゃん未来21チームエラン
55	B			清水 正己	26	宮城	Y-YZF750	遠藤輪業 RT GIDAENGIN
56	A			柳 賢一	29	群馬	K-ZXR750R	Team Shirota
57	B			中谷 真也	25	兵庫	K-ZXR750	チーム阪神ライディングスクール
58	A			中澤 敬一	29	宮城	K-ZXR750R	遠藤輪業 RT & スペースアート
59	B			山中 正之	28	神奈川	H-RVF750	レーシングチーム ハニービー
61	A			佐々木 栄司	29	静岡	S-GSX-R750	JAJA TEAM タイタン
63	B			高橋 徹	24	埼玉	Y-YZF750	スーパービルド M・オザワ R & D
65	A			塚本 正章	24	熊本	H-RVF/RC45	HONDA 熊本レーシング
66	B			中村 健一郎	27	茨城	H-RVF/RC45	TEAM CBX
73	A			河村 康成	26	熊本	H-RVF/RC45	HONDA 熊本レーシング
74	B			鈴木 孝之	29	栃木	H-RVF750	TEAM CBX & PGR
75	A			青柳 幸広	24	大阪	Y-YZF750	スイフトR MOTUL
76	B			鈴木 誠	31	静岡	D-916	TEAM・KATAYAMA
77	A			谷口 仁	32	栃木	Y-YZF750SP	コンパニオンフレンド & モト片柳
78	B			大屋 徹	27	新潟	H-RVF/RC45	T. KANEYASU 日本精機
79	A			渡辺 克也	34	岩手	H-RVF750	レーシングチーム BIGBOX
96	B			井筒 仁康	25	千葉	D-916	チーム アクタス
831	B			神谷 登	27	神奈川	H-RVF750R	レディオ湘南 & 桜井ホンダ

楽しいイベントも見逃せない!

① ピットウォーク & コース見学会

日時: 4/28 ●ピットウォーク11:20~
●コース見学会11:20~

場所: SUGO国際レーシングコース

※当日バドック券購入者のみ対象となります。

② レーシングコース体験走行会

日時: 4/28 15:30~16:30(予定)

場所: SUGO国際レーシングコース

※レーシングコースを自車(125cc以上のオンロード車)で走行。

③ 憧れのライダーとのトークショー & チャリティーオークション

日時: 4/28 11:20~12:00(予定)

場所: レーシングコース グランドスタンド特設テント

④ 人気ライダーを囲んでの交流パーティ

日時: 4/27 17:45~19:45(予定) 参加料: 4,000円

場所: ホテルくぬぎ山荘ファンクションルーム 定員: 50名

●お申込: SUGOモーターズスポーツ課(☎0224-83-3127)

または大会当日グランドスタンド特設テント。

⑤ イベント広場

●各メーカーPRブース出店

日時: 4/28 9:00~16:00(予定)

(なお、スケジュール及び会場が変更となる

場合もございますので、あらかじめご了承ください。)

●'96MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ年間カレンダー

開催日程		開催場所	開催日程		開催場所
第3戦	5月18日(土)・19日(日)	筑波	第8戦	9月7日(土)・8日(日)	鈴鹿
第4戦	6月8日(土)・9日(日)	鈴鹿	第9戦	9月21日(土)・22日(日)	筑波
第5戦	6月22日(土)・23日(日)	富士	第10戦	10月5日(土)・6日(日)	T I 英田
第6戦	7月6日(土)・7日(日)	SUGO	MFJGP 第11戦	11月2日(土)・3日(日)	SUGO
第7戦	8月10日(土)・11日(日)	MINE			

SUGO国際ショナルレーシングコースへようこそ!

ROAD RACEを 楽しもう!



ライダー、マシン、どれを取っても 内容の濃い、目の離せないスーパーバイク

一昨年よりファクトリーとプライベートのマシン差を少なくし、限られたチーム、ライダーだけのトップ争いではなく、より多くの才能あるライダーに勝利のチャンスが得られるようにスタートされたスーパーバイククラス。マシン差を少なくするため、フレームの変更が禁止され、最低重量制限が導入されるなど、コストを極力抑え、しかもファクトリーとプライベートのコスト差によるマシン差をできる限り少なくするように努力されている。しかし国内4メーカーが直接参入しているクラスであり、そのためにそれぞれのメーカーは、自らの威信をかけて戦いに臨んでいる。マシン、ライダーとも、ベストと考えられる組み合わせでエントリーしているのだ。

そのため、ライダーの顔ぶれ、マシンの仕上がりを見るだけでも、このクラスは見応えがある。

まずホンダだが、今年はチャンピオン青

木拓磨に、新人の武田雄一が加わり、2台体制でシーズンを戦う。このクラス唯一のV型4気筒エンジンを搭載したRVFは、吸入方式が通常のキャブレター方式ではなく、四輪では多く採用されているインジェクション方式とされている。さらにエンジンの特性をより良いものとするため、95年からマフラーを集合したまま1本出しとするのではなく、2本出しとすることでパワーアップを図っている。しかもより良い出力特性とするため、インジェクションの空気を吸い込む部分にファンネルを装着するが、これをエンジンの回転数に応じて長さが変化する可変ファンネルを開発し、採用するなど、意欲的なマシン開発を行っている。開幕戦を独走優勝、全日本デビューレースとなる武田も激戦のこのクラスで8位という好成績でレースを終えている。

ヤマハはこのクラスのスタート時からYZF750を使っているため、今年で3シーズ

ン目を迎える。絶妙の車体バランスにより、コーナリングマシンとして完成されており、今年もそのバランスには磨きがかかっている。ライダーはGP500クラスの全日本チャンピオン経験もある藤原儀彦。またサテライトチームから芳賀紀之もファクトリーチューンYZFを駆る。

スズキは今年、フレーム、エンジンをまったく新しく設計したGSX-F750を投入した。初戦では雨のデータがほとんどないという厳しい状況ながら、カワサキから移籍した藤原克明がポールポジションからスタートし、見事2位表彰台を獲得した。このコンビネーションは今年も台風の目になるはずだ。

カワサキには、ゼッケン2を持って武石伸也が加わり、ライダーは柳川明、梁明、塚本昭一の四人体制。マシンもZX-7RRとなり、活躍が期待される。

スタートから誰が飛び出すか、今回も目の離せないレースになりそうだ。

HONDA

青木、武田の二人が駆るRVF。マシンのデビューは94年。今年で3シーズン目を迎える。RVFはF1時代、圧倒的パフォーマンスを發揮したファクトリーマシンRVFの名を与えられたマシン。クラス唯一のV型4気筒エンジンを搭載。インジェクションを採用しているのも、国内ではホンダのみ。このクラスのマシンでは、RVFの他に、ドゥカティがインジェクションを採用している。青木、武田ともにタイヤはミシュランを装着している。フロントホイールは、世界GPでは主流になりつつある16.5インチホイールを採用。可変ファンネルやフロントのホイールサイズなど、常に最新の技術が投入され、開発が続けられているマシンがRVFだ。



YAMAHA

94年にデビューし、熟成が重ねられているYZF750。このマシンの強みは絶妙な車体バランスで、これに磨きをかけているのだ。車体造りは、図面上の計算だけでは成り立ちづらく、実走しながらトライ＆エラーで積み上げはならない。そうした開発をするためにも、GP500マシンでの全日本チャンピオン経験者である藤原儀彦がライディングする意味は大きい。藤原も重いスーパーバイクマシンをライディングして3年目を迎える。当初は戸惑いを見せていたが、すでに何度も勝利を経験し、彼本来のポテンシャルを見せてきている。また若い芳賀紀之も大きな可能性を感じさせるライダーで、今後が楽しみだ。



SUZUKI

昨年まではダブルクレードルフレームという、オーソドックスなスタイルの車体構成で苦戦を続けてきたスズキ。今年は満を持し、ツインチューブタイプのフレームを新設計し、これに合わせてエンジンも新設計し、ニューGSX-R750として登場してきた。全くのニューマシンでデータがないため、シーズン序盤は様子見のレースになるかと思われたが、開幕戦では藤原克明がポールポジションを獲得。決勝も、雨によるマイナートラブルに悩まされながらも2位入賞を果たすという、ライダー、マシン共に大きな可能性を見せるレースとなった。またベテランの域に入ってきた北川圭一もスズキに移籍。漸実に結果を残していくはずだ。



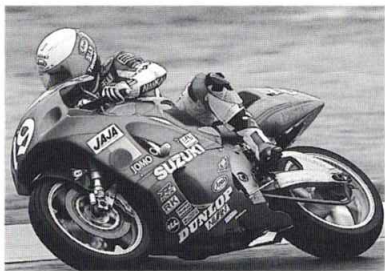
KAWASAKI

藤原克明、北川圭一という大きな柱が移籍のために抜け、新たに武石伸也と梁明がチームに加わることでとなったカワサキ。武石は昨年までホンダで活躍し、V4エンジンで育ってきたライダーだ。また梁はチームグリーンから同じカワサキ系の阪神ライディングスクールでF1時代からスーパーバイクマシンで全日本に参戦。94年にはスーパーバイククラスでワークスを押さえ、優勝した経験を持つ。今年は車体、エンジン共に新しくなったZX-7RRでシリーズを戦う。安定した速さを見せる柳川明、塚本昭一も走る。スーパーバイククラスのレースには最もノウハウを持つカワサキだけに、今年もライムグリーンは目の離せない存在と言える。



YOSHIMURA

待ちに待ったマシンであるニューGSX-R750で全日本を戦うヨシムラ。テスト不足と言いつつも開幕戦を6位という好位置でレースをフィニッシュ。確かな手応えを感じたようだ。やはりスーパーバイクレギュレーションになり、そこで活躍して欲しいのがヨシムラ。モリワキといったコンストラクター系。そうした期待も込めて、活躍に注目したい。



MORIWAKI

昨年も上位グループに加わり、復活の兆しを見せているモリワキ。昨年は94モデルをベースに戦っていたが、今年はマフラーが2本だしとされていることから見ても、新型マシンとなっているようだ。発の速さが魅力の和泉美智夫、新井秀也というライダーで、ぜひ今年は表彰台の一角を獲得して欲しい。第1戦では和泉が7位を獲得した。



DUCATI

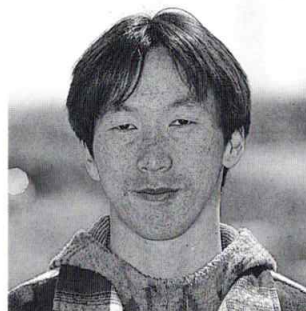
ワールドスーパーバイクでは常勝を誇るドゥカティ916。全日本にもチームファンデーションが94年からドゥカティで参戦し、徐々にエントリーマシンが増えてきているが、今年はチームファンデーションを含む3台のドゥカティが全日本フルエントリーを予定している。軽量なV型2気筒エンジンは国産車にないコーナリングマシンとして速さを見せる。



チームファンデーションの生見友希雄



元世界チャンピオンの片山敬済率いるチームカタヤマの鈴木誠



アメリカの国内レースであるAMAを戦い、今年日本に戻り、自らのチームでドゥカティを駆る宗和孝宏

RFC会員特典概要

- ①1996年全日本選手権シリーズ全11戦共通バス（観戦券+パドックバス）進呈

※特別会員のみ（限定100名）

特別会員にのみ発行されるスペシャルメンバーズカードは、1996年全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦において有効で、このカードを提示すれば、一部エリアを除いて観戦およびパドックエリアまで入場が可能。

- ②観戦券・パドックバスの割引販売

1996年の全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦において、RFC会員カードを提示すると、観戦料金が当日料金の30%OFF、パドックバスが当日料金の10%OFFで割引購入可能。会員1名様に付き1枚のみ有効。また、鈴鹿日本GP・鈴鹿8耐・WSB(SUGO)の各世界選手権の観戦券・パドックバス等も割引販売がある。

- ③ビットウオーク開催サーキットで、参加無料

- ④パドッククラブのご利用

- ⑤入会記念品進呈

- ⑥大会会場記念品進呈（先着50名様）

- ⑦会報の発行

- ⑧レース情報提供サービス（有料）

- ⑨サーキット体験走行などのイベントへの優待参加

- ⑩宿泊観戦バックへの優待割引参加

- ⑪オリジナルグッズの割引購入

- ⑫各サーキットの付帯設備における割引等の特典

RFCイベントとは？ その一例をご紹介します

- サーキット体験走行

レース終了後のサーキットを全日本ライダーが先導してのサーキット体験走行する貴重な機会!!



- トークショーイベント

昼のインターバルに行っているライダーのトークショー。コース上の特設ステージなどで開催!!

- ライダーとの交流イベント

ライダーと身近にコミュニケーションできる交流イベントも開催。サーキットによって土曜日または日曜日の開催となります。

RFC JAPAN
ROAD RACE
OFFICIAL F.C
MemberShip

- お問い合わせは...

RFC事務局

名古屋市西区則武新町4-4-19 〒451

☎.052-565-0501 FAX.052-565-0502

ロードレースファンクラブ

ビットウオークが無料!!

観戦券・パドックバスが大幅割引!!

全日本ロードレース選手権シリーズをファンが一体になって盛り上げながら、全日本ライダーとコミュニケーションしたり、サーキットライフも思いっきり楽しんでしまおうというのが、RFCロードレースファンクラブのコンセプト。MFJプロモーション実行委員会が運営主体となり、全日本ロード開催6サーキット、2輪メーカー4社、国際ライダーの統括団体であるRMA選手会、そしてライダーたちが一体となって盛り上げようとしているから、全日本ロードをもっと楽しむための特典が満載!!

RFC入会方法

- RFC年会費（入会金は不要です）

RFC一般会員/4,000円

RFC特別会員/30,000円（限定100名）

★1996年の特別会員の入会受付は、定数に達したため終了しました。ご了承願います。

- 申込方法（二通りあります）

住所、氏名、「RFC入会希望」とお書きいただき、RFC事務局にお送り下さい。折り返し入会申込書を送付いたします。電話・FAXでも受け付けます。

全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦にて設置されるRFCロードレースファンクラブのブースでも受付を行なっています。サーキットで入会したい人は、ブースにて入会手続きをして下さい。この場合、入会したその場でカードの発行を行いませんので、入会と同時に特典が受けられます。

- 申込・お問い合わせ先

RFC事務局（アバンテック ジャパン、INC.内）

名古屋市西区則武新町4-4-19

SG名古屋ビル5F 〒451

☎.052-565-0501

FAX.052-565-0502

入会受付
イベント参加受付
グランドスタンド
付近のブースにて
実施中!!

MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

SUPERBIKE
JAPAN

SINCE **1952**



伝統的 フリーストランド



COURSE

観戦ガイド

ベストポイントで観戦に臨む！

1 シケインスタンド

低速コーナーが組み合わされているため、ブロックライン、タイムを出すライン、パッシングラインなど、様々な走行ラインがある。それゆえ、最終ラップのここで、最後の最後に緊張感あふれるドラマが展開されてきた。またシケイン入り口は、SPアウトコーナーを立ち上がり、110Rという高速コーナーリングをし、マシンを完全に起こせない状態でブレーキングしながら、このシケインへのアプローチとなる。ここも非常に繊細なブレーキングが要求されるポイントだ。

2 SPスタンド

レインボーコーナーを立ち上がると、下りながらのバックストレッチに入る。ここが、コース中最もスピードの出るポイントだ。しかもその先が、40Rで回りこんでいる馬の背コーナーへと続いている。下りながらのフルブレーキングとなるため、フロントタイヤのコントロールが非常に難しくなる。それだけに、ブレーキング競争によるパッシングポイントとなる。

3 グランドスタンド

ここからは、日本国内のサーキットでは珍しい10%という急な登り勾配を全力で駆け上がってくるマシンを見ることができる。登り勾配を一気に駆け上がり、スリップストリームから抜け出し、1コーナーへのアプローチで前のマシンを抜くというパッシングポイントでもある。今回もパッシングシーンが見れるか。

4 NISSEKIコーナースタンド

このスタンドは、1コーナーへのアプローチから2コーナー立ち上がり、そしてハイポイントコーナーまでを見ることが出来る。1コーナーは30Rの右ターンで、ほぼ直角に曲っている。さらに次の2コーナーがまた40Rのほぼ90度ターンなので、1コーナーを立ち上がったからといって、すぐにアクセルを全開にするわけにはいかない。2コーナーの走行ラインを考えながら、1コーナーのアプローチをしなければならないのだ。そのあたりの走りを見せ、チェックしたい。



'96 SUGO
RACE QUEEN



渋谷 知美(21歳)

■身長：165cm
■B83-W53-H85
■趣味：水泳、バスケットボール
■住所：宮城県



高橋 圭子(23歳)

■身長：166cm
■B84-W59-H87
■趣味：スキー、旅行
■住所：宮城県

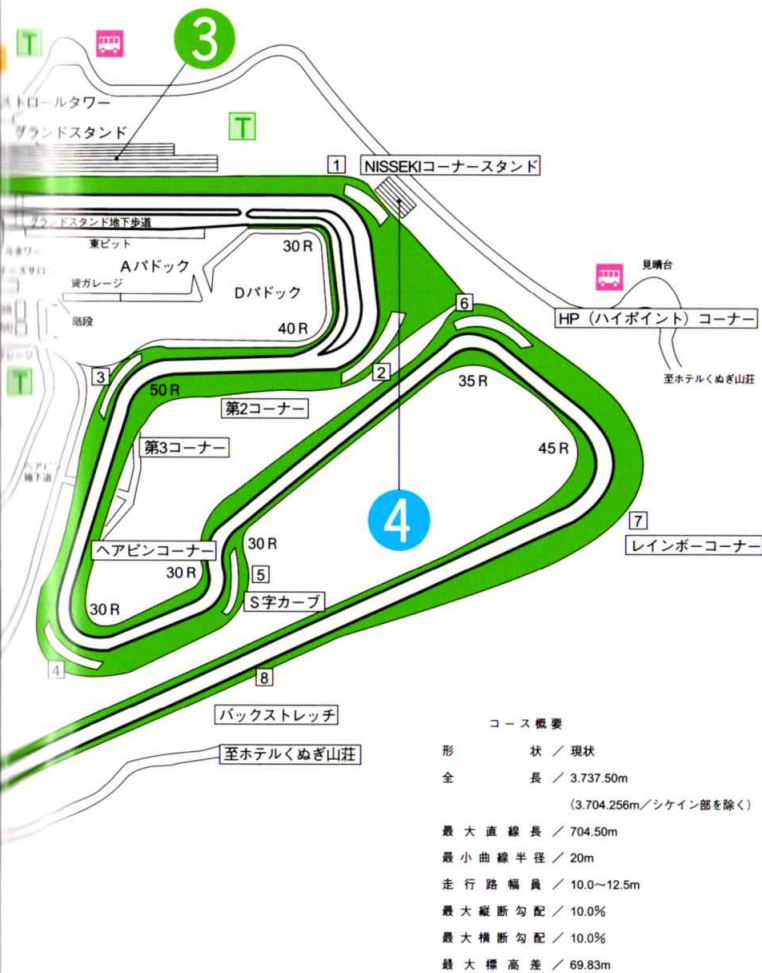


阿部 美貴(22歳)

■身長：168cm
■B80-W58-H83
■趣味：陸上
■住所：宮城県

GUIDE

数々のインターナショナル格式のレースを開催する、スポーツランドSUGO。コースの全長3,737.5m、18のコーナと2つのストレートで構成される。特徴としては、高低差が69,83mもあり、しかもその中にコーナがレイアウトされているため、非常に繊細なマシンコントロールが要求されるダイナミックかつテクニカルなコースだ。



'96 SUGO RACE QUEEN CONTEST

主催 スポーツランドSUGO 協賛 株式会社 タイシ インターナショナル ヤマハ東京株式会社 株式会社サイカ make-up project HAGA



1996 SUGO RACE CALENDAR

開催日	大会名
-----	-----

RACING COURSE 2輪

4/27(土)~28(日)	'96全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
5/ 5(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第2戦
6/ 2(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第3戦
7/6(土)~ 7(日)	'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦
7/21(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第4戦
8/11(日)	第13回SUGO耐久ロードレース大会
8/24(土)~25(日)	'96SUGO SUPER BIKE世界選手権第10戦
9/ 8(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第6戦
9/29(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第7戦
10/20(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第8戦
11/2(土)~ 3(日)	'96全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦MFJグランプリ

RACING COURSE 4輪

5/18(土)~19(日)	'96全日本スーパーツーリングカー選手権
6/16(日)	'96SUGOビクトリーカップレース第2戦
8/ 3(土)~ 4(日)	フォーミュラニッポン第6戦 (F3000 & F3)
9/22(日)	'96SUGOビクトリーカップファイナル
10/ 5(土)~ 6(日)	'96全日本GT選手権レース第6戦
11/ 9(土)~10(日)	SUGOスーパーN1耐久シリーズ最終戦

KART COURSE

4/29(祝)	ヤマハカップカートレース
5/ 3(祝)	SUGOジムカーナシリーズ第2戦FALKEN CUP
5/ 5(日)	SUGOカートレース第3戦
6/ 9(日)	全日本カートレース東北地区第4戦
6/30(日)	SUGOカートレース第4戦
7/28(日)	BoonCupカートサマーフェスティバル
8/14(水)	'96ふるさとまつりナイタージムカーナ
8/18(日)	SUGOカートレース第5戦
9/ 8(日)	SUGOカートレース第6戦
9/16(祝)	SUGOジムカーナシリーズ第3戦ADVAN CUP
9/29(日)	全日本カートレース選手権最終戦
10/13(日)	'96ジャパンカートグランプリ
10/27(日)	SUGOジムカーナシリーズ第4戦TRAMPIO CUP
11/10(日)	地方カート東北地区最終戦
11/23(祝)	SUGOジムカーナシリーズ第5戦POTENZA CUP
12/ 8(日)	'96SUGOウィンター耐久カートレース

MOTOCROSS COURSE

5/12(日)	YESSチャレンジエンデュロレース第2戦
5/26(日)	宮城県モトクロス選手権第2戦
6/ 8(土)~9(日)	全日本モトクロス選手権第5戦
6/30(日)	YESSチャレンジエンデュロレース第3戦
7/28(日)	宮城県モトクロス選手権第3戦
8/18(日)	宮城県モトクロス選手権第4戦
9/ 1(日)	東北モトクロス選手権第6戦
9/14(土)~15(日)	全日本モトクロス選手権第10戦
9/22(日)	POKKA ALL JAPAN SUPER OFF ROAD 第6戦
12/8(日)	YESSチャレンジエンデュロレースグランプリ

<http://www.sphere.ad.jp/zundanet/sugo/>

■アクセスしてプレゼントをもらおう!

SUGOの全レースの他に、モーターファンには見逃せないプレゼント情報が満載。

さあ、キミもさっそくアクセスしてみよう。



Agip

motor oils



いつも
アジップがいる



SHOWA BOEKI CO., LTD.

18-27, EDOBORI 1-CHOME, NISHI-KU, OSAKA, 550 JAPAN
PHONE:(06)441-8121 FAX:(06)444-6060



キーンディブレイジングレッド

Hornet

スポーツが、熱く、触れてくる。

ざらざらとしたアスファルトの感触が、
タイヤからHORNETのボディを通して、体のなかに流れこむ。
体はスポーツに飢えていた。ホットなビートに溺れていた。
いいじゃないか、HORNET。

ブーンシルバーメタリック



ブラック

INLINE-4 NEW WAVE HORNET DEBUT!

主要諸元 ■型式MC31 ■水冷4サイクルDOHC4バルブ4気筒・249cm³ ■最高出力40PS/13,000rpm ■最大トルク2.4kgm/11,000rpm ■乾燥重量149kg ●¥499,000
※価格はメーカー希望小売価格(北海道、沖縄および一部地域を除く)です。※価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。※価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※速度警告灯装着車もタイプ設定してあります。(10,000円高)

バイクが好きだから、
セーフティライド。

全日本ロードレース選手権
招待券プレゼント実施中
SUPERBIKE JAPAN
'96年11月～12月にモーターサイクル / スクーターをお買上げの方全員に

見る・見られる・いい運転。 **バイクでひろがるいい仲間**
●バイクは昼間もライト・オン!
●カーブ・交差点では、スローインクダウン!
バイクはいつも 光ってる

オーリンズテスト。



各メーカーのニューモデルが発表される前後からオーリンズの開発スタッフはより忙しくなる。なるべく多くのニューモデル車に装着されるべくハードなテストが開始されるからです。オーリンズでは開発に着手する前に実車のスペックを徹底して検討します。アライメント、エンジン位置、重量、前後荷重等。このデータを基にそれまで培ってきた独自のノウハウを加えコンピューターによって得られたセッティングのサンプルを製作。それと並行してストックの状態での実走テストが現役のトップライダーと同格のテストライダーによって行われます。その目的は、メーカーの設計者の意図を読み取り、優れた点や反対にウィークポイントを見つけるためです。オーリンズのコンセプトは、実車が本来持っている優れた特性をさらに延ばし、欠点を最大限にやわらげることです。サンプル(プロトタイプ)のショックはテストをくり返しながら完成品に近づけ、最終的な仕上げはサーキット、高速道路、マウンテンコース、市街地での走行が待っています。もちろん、ライダーは数人が選ばれ平均で2ヶ月、20,000kmに及ぶハードなものとなります。オーリンズはこの様にして開発、リリースされたものでもまだベストであるとは断言しません。ユーザーの評価に耳を傾け、必要ならばいつでも再テスト(仕様及び設計変更)を行なうだけの柔軟な考えでいるのです。オーリンズは常に夢のサスペンションを求めて進化し続け、安全で快適なモーターサイクルライフを提供いたします。



●OH LINS DOCUMENTS
 '96年2月スペイン南部のサーキットにてオーリンズはニューモデル車によるテストを行った。4気筒スーパースポーツからハレーデーまで様々なモデルが用意されていた。エンジニアも兼ねるテストライダーの走行はさながらレーシングマシンを思わせるハードなもの。一台のバイクを数人のテストライダーが走らせ、さらにサスペンションのセッティングを執拗に変えていく。リリースする前のこの様なテストはオーリンズが常に進化するために必要項目。安全で快適なサスペンションの実現のために。



フルアジャスタブル・ツインショック ¥118,000

●ガスとオイルを隔離するフリーピストンにより、キヤビテーション(泡立ち)、エアレーション(空気吹込み)を防ぐと共に高い冷却性能を誇る。●圧力減衰力調節機構(4段階)●伸縮減衰力調節機構(20段階)●全長無段階調節機構(+10mm)●油圧スプリングプリロードアジャスター<10mm行程>
 対応車種：ゼファー1100/ZI、ゼファー400/Z400、ZRX400、CB1000SF(BIGI)、CB900/1100F、CB400SF、XJR1200、V-MAX、XJR400、GSX1100Sカタナ

作業工賃価格
 ●オーバーホール/仕様変更
 リアショック ¥24,000
 スプリング交換 ¥2,000
 O/H時無料
 備考：スプリング代は別途
 ※ツインショックのそれぞれの工賃は、1台分(2本)の料金です。



オーリンズのお求めは、この看板のオーリンズプロショップで。

●表示の価格は消費税および取り付け工賃を含まない1台分セットです。●価格および仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。●カタログをご希望の方はご覧になった誌名・号数・ご希望の車種を明記し、500円切手を同封してラボ・カロッツェリアまでお申込みください。●オーリンズ発売元・株式会社カロッツェリア・ジャパン

商品に関するお問い合わせ、ご注文は
 お客様フリーダイヤル
0120-81-1113

オーリンズに関するお問い合わせは、
ラボ・カロッツェリア
 〒336 埼玉県浦和市庄 8-23-13
 TEL.048-863-1801 FAX.048-863-1802



ダリツプ・ダリツプ・ダリツプ。



全国のサーキットの、さまざまなコーナーでそのグリップ力をいかに発揮している
BT-90 RADIAL。
そのグリップ性能の高さも、そのグリップ持続性も、
すべては「V」のために。

**RACE TYPE
BT-90 RADIAL**

Front

Rear



BATTILAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので
吸いすぎに注意しましょう



BOX NUMBER



スーパーマイルド NUMBER

タール11mg / ニコチン0.8mg

タール6mg / ニコチン0.5mg

AN AMERICAN ORIGINAL.

LUCKY STRIKE

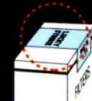
ラッキーストライク 総計21,300名様に当たります。 スモーカーズ・コレクション・プレゼント

■期間：1996年4月15日(月)～7月15日(月) ■賞品：特賞／限定スターリングシルバー・ジッソー「シリアルナンバー入り」No.001～300(300名様)、A賞／ブラック・レーザー・ジッソー(9,000名様)、B賞／レザーホルダー付・ポータブル・アッシュトレイ(12,000名様)をプレゼント ■対象銘柄：日本国内で販売されているラッキーストライク全銘柄 ■応募方法：ラッキーストライク全銘柄の指定部分を切り取って、応募ハガキまたは、官製ハガキに6枚貼り、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号と現在お吸いのタバコ銘柄(抽選には一切影響ありません)を、ご記入の上ご応募下さい ■宛先：〒119-65 東京中央郵便局留「ラッキーストライク

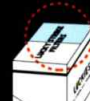
・スモーカーズ・コレクション・プレゼント、M係(賞品の指定は出来ませんのでご了承ください)※ハガキ1枚を1口とし、お一人様何口でもご応募できます ■応募資格：満20歳以上でタバコをお吸いの方に限らせていただきます ■応募締め切り：1996年7月15日(月)必着 ■抽選発表：発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます 賞品の発送は8月中旬になります(賞品は実際と異なる場合がありますのでご了承ください) ■問い合わせ先：ラッキーストライク・スモーカーズ・コレクション・プレゼント事務局

03-3811-1108

下図のように、パッケージの指定部分を切り取って、応募ハガキ、または、官製ハガキにお貼りください



ソフトトップのアップルの上面を切り取って下さい



BOXトップのSTRIKE側半分を切り取って下さい

郵便はがき
50円
切手
119 65
東京中央郵便局留
ラッキーストライク
スモーカーズ
コレクション
プレゼントM係

あなたが現在お吸いのタバコ銘柄をお書きください。
●郵便番号 ●住所 ●氏名(ふりがな) ●年齢 ●性別 ●職業 ●電話番号
1 2
3 4
5 6



特賞
限定スターリング
シルバー・ジッソー
「シリアルナンバー入り」

A賞
ブラック
レーザー・ジッソー

B賞
レザーホルダー付
ポータブル・アッシュトレイ